



参観いただき、ありがとうございました

18日（金）に、今年最初の参観日がありました。

算数や理科、社会など各学年、いろいろな教科の勉強を見ていただきました。参観して下さったたくさんの保護者の皆様、たいへんありがとうございました。

2年生は、初めての「分数」の学習で「 $1/2$ 」という大きさを体験的に学習しました。また、3年生は、「磁石を使ったオリジナルのおもちゃを作る」という学習のゴールに向けて、磁石につく物・つかない物を予想して実験から結果を導き出す授業を参観していただきました。他の学年でも、資料を比較したり見積もったりといった思考を深めるための工夫を取り入れた授業を行いました。

呉中央小学校では、見通しをもって問題解決にあたり、比較や関連づけをしながら考えを深めたりしていく授業づくりに取り組んでいるところです。参観授業でそうした様子が少しでも観ただけでいたでしょうか。

子供達が主体的に取り組める授業作りに、これからも取り組んでいきたいと思えます。

2月は7日（木）が4～6年と太陽学級、12日（火）が1～3年生の参観・懇談です。5校時が参観授業、6校時が懇談会となっています。お忙しいとは思いますが、ぜひお越しください。



「税金」について学びました

18日（金）の参観日に、6年生は呉法人会の松本好生さんをお招きして、「租税教室」を行いました。

税とはどんなものなのか、なぜ必要なのか、子供たちの身近な生活の中のことを例に挙げながら、分かりやすく教えていただきました。

租税教室の授業を受けて、税金の種類がたくさんあることやそれぞれの税金が国民の生活に役立っていることが分かったとか、デンマークでは日本と違って税金がとても高い代わりに福祉が充実していることに驚いたといった感想をもった子供もいました。中には、ポテチ税や砂糖税など、健康を守るための税金が外国にあることを知って、日本に導入されたら困るなあという素直な声もあったようです。新聞やニュースを見て、世の中のことを知るためにアンテナを伸ばしていきたいという声もありました。

普段、言葉では知っているものの、あまり深く考えたことのなかった税金というものについて、自分たちの生活とのかかわりで考える機会となりました。

